

卒業証書授与式／卒業パレード

本来であれば、1年生から5年生の全校児童が卒業証書授与式に参加し、6年生の晴れ姿を見届けますが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のために、6年生と6年生の保護者のみの参加となりました。しかし、授与式の後に行われるパレードでは、1年生から5年生がそろう、6年生を盛大に送り出すことができました。厳粛な儀式と、華やかでお祭りムードのパレード、このコントラストが菊の園を旅立つ最後の一日を思い出深くしています。

下級生にとって憧れの存在が小学校を旅立つ。6年生にとっては、多くの壁を共に乗り越えた仲間、そして支えてくれた下級生との別れの時です。下級生にとっては、憧れの存在が目の前からいなくなってしまう悲しい時でもあり、憧れの存在に一步近づく時です。ふりかえてみれば、6年生がオペレッタで下級生に伝えたメッセージの通り、「当たり前が当たり前ではない」ということを痛感した1年だったのではないのでしょうか。感謝の気持ちを胸に、卒業生一人一人が自分らしく個性を輝かせ、それぞれの人生を歩んでいくことを願っています。ご卒業おめでとうございます。

